要請番号（JL63622A01）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ルワンダ	G131 空手道		個別	新規 2代目	2年	・2023/1・2023/2・2023/3

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

スポーツ省

2）配属機関名（日本語）

ルワンダ空手連盟

3）任地（ キガリ市 ） JICA事務所の所在地（ キガリ市 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 徒歩 で 約 0.0 時間 ）

4）配属機関の規模・事業内容

配属先のルワンダ空手連盟は、2008年に設立された団体で、2010年に政府によって認可された。同連盟はキガリ市内に約50の空手教室を有しており、それぞれ10～30名程の子供たち(5～12歳が中心)が空手を習っている。これまで国際大会にナショナルチームの選手を送り出しており、2019年にはホスト国として、国際競技大会(アフリカンチャンピオンカップ)を開催した。現会長は、かつて日本の空手家の指導を受けた経験があり、隊員の活動にも非常に協力的である。現在、コロナ禍ということを配慮し、出来る限り室内での指導を避け、屋外にマットを敷いて空手教室を実施している。なお、生徒(選手)間の距離を保ち、形(型)を中心とした内容とし、組手は行っていない。

【要請概要】

1）要請理由・背景

ルワンダでは多くの人に空手は認知されているものの、指導者不足も影響して競技人口はまだ少なく、世界で戦うには選手の技術レベルは不十分である。空手人口の増加に向けて、効果的な普及活動が必要であることから隊員の要請があり、2016年1月から2年間、空手隊員が派遣された。同隊員による空手教室の開催、地方での巡回指導、世界大会(2016年10月、オーストリア)へのナショナルチーム・コーチとしての同行などの活動が大変評価され、引き続き、後任隊員の要請がなされた。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

1. キガリ市内の空手教室において、主に初心者に対して指導を行う。
2. ナショナルチームの選手に技術指導を行う。
3. 地方(近隣郡)に赴き、空手の指導を行う。
4. 空手の普及活動として、小中学校等で空手の紹介を行う。
5 .競技大会やイベントでの運営サポートを行う。

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

マット、ヘッドギア、拳サポーター、胴プロテクター、脛あて、得点板

4）配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚
・ルワンダ空手連盟会長: 男性、60代(4段)
・ヘッドコーチ: 男性、40代(4段)
活動対象者:
・各空手教室生徒10～30名(男女、5～30歳)
・ナショナルチーム選手40名(男女、18～30歳、有段者)

5）活動使用言語	6）生活使用言語	7）選考指定言語
英語	その他	英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：（空手道三段）

[性別]：（　　）　備考：

[学歴]：（大卒）　備考：査証取得に必要なため

[経験]：（指導経験）3年以上　備考：技術指導を行うため
（競技経験）5年以上　備考：技術指導を行うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候）　気温：（13～30℃位）

[通信]：（インターネット可　　電話可）

[電気]：（不安定）

[水道]：（不安定）

【特記事項】

段位(もしくは指導経験)を証明する英文の証明書の提出が必要

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.